

- 7. 企業立地推進局及び東京都連絡所
 - 8. 道立工業技術センター
 - 9. 北方圏海洋総合センター
 - 10. 工業振興促進条例の制定
 - 11. 臨空工業団地、工業水確保、幹線交通網、住宅及び用地の整備
- このほか、企業誘致に関連し函館市及び近郊3町（七飯、大野、上磯）に進出する企業については道、および函館市よりそれぞれ、1億円を限度として補助を行う制度ができています。

○地元経済界の取組み姿勢

産業複合体を構成する産業グループ

海洋関連産業群	資源活用産業群	社会開発産業群
<ul style="list-style-type: none"> ・漁業機器システム製造業 ・海洋開発機器システム製造業 ・水産加工機器システム製造業 ・水産物高度加工産業 ・システム漁業 ・海洋牧場 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源活用型ロボット産業 ・資源活用システム ・機材部品製造業 ・高度加工産業 ・システム農林畜産産業 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合システム エンジニアリング ・都市システム部品機械製造業 ・医療、福祉機器製造業 ・資源活用型医薬品製造業

函館テクノポリスの原点は高度技術にとらわれず潜在するニーズ、新しく生れるニーズを適格にとらえ、伝統産業の技術的ノウハウ、新しい技術的なシーズ、即ちニーズとシーズを有機的に結合させ付加価値の高い商品を生み出し、市場を創造する。これによって技術の高度化が促進されると同時に高度技術産業の誘致推進を図り、地元再活性化につないで行くことがテクノポリスの基本姿勢と考えます。

◎ 出席報告

会員数	72名	出席率	函館北 8月29日	94.29%
出席席	44名		函館東 8月28日	97.56%
欠席	28名		函館 8月23日	98.53%
他クラブ出席	22名		函館五稜郭 8月24日	100.00%
出席合計	66名		函館亀田 8月27日	90.70%
除外者	2名			

次回・9月19日
プログラム

フリートーキング
"地区大会の在り方について"

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870



函館北ロータリークラブ会報

カルロス・カンセコ 国際ロータリー会長テーマ

Discover a New World of Service

見つけよう奉仕の新生面

北京
天壇

角谷
隆一
会員



《第1018回例会》 第12号 9月19日(水)

本日のプログラム

フリートーキング
"地区大会の在り方について"

★会長 宮崎 英一 ★幹事 中川 洲平

1984~1985 <第1017回例会> 第11号

9月12日の記録

- 司会 宮崎英一会長 ●斉唱 我等の生業
- ピジター 函館R.C. 鷺尾英一君他1名 函館東R.C. 齊藤誠太郎君他1名
函館亀田R.C. 田中仁君 函館五稜郭R.C. 松浦百秋君他2名
- ゲスト アジア石油函館製油所所長 大宮法和氏
交換留学生 ミス、ガイール・ウイルチ
- 会長報告 宮崎英一会長
- 9月20日の訪台メンバーがきましたので、御報告致します。時間は11時40分発です。
光銭吉郎分区代理、宮崎英一会長、椎谷龍彦副会長、中川洲平幹事、三本木元会員、伊藤康男会員、松本修会員、新博夫会員、南宏国会員、佐藤康夫会員(五稜郭R.C.)
- 先般、幹事と共に野村会員、藤川会員、市川会員を見舞ってきました。
- 国際交流センターより活動終了のお礼状が来ております。
- 幹事報告 中川洲平幹事
- 第一期分の会費未納の方は、9月末日まで必ず納入して下さい。
- 9月26日の当クラブの例会は、18時より、クラブ・アッセンブリーを兼ねた夜間例会となります。
- 9月16日(日)の年次大会は、9時点鐘で行なわれますのでよろしく。場所は北海道厚生年金会館、永年出席100%授賞者代表として当クラブの川村邦雄会員が受け取ります。
- 当クラブと台北東北ロータリークラブとの友好クラブ締結同意書を回覧致します。
- ★交換留学生 ミス、ガイール・ウインチ
休み中の旅行等、近況の報告がありました。
- ★深瀬鴻一郎会員
会員が病気がちなので、健康管理についてお話しがありました。

●親睦委員会 太田博会員

ニコニコBOX投入報告

中川幹事・・・・・・結婚祝を頂戴しました。

千葉会員・・・・・・ホームクラブ欠席がちのおわび。

●卓話 “最近の石油事情と中東情勢”

アジア石油函館製油所 所長 大宮法和氏

昨年は第一次オイルショックが発生してから丁度10年目であります。この10年間に原油の価格が約14倍にもなりました。即ちショック前約2.5\$Bのものが二度のオイルショックで約34\$Bになつたわけでありませう。

この結果、世界のエネルギーの中での石油の需要構造は大きく変化しました。最近高騰の一途をたどって来た原油の価格も御存知の如く昨年3月に遂にパーレル当り5ドルの引き下げを見るに至りましたが、このことは第一次オイルショック後10年目にとって非常に意義のある事と思ひます。

この原油価格の引き下げ圧力は、1つには先進国を中心とする石油需要の後退、2つには非OPEC産油国(メキシコ、北海原油、ノルウェー等)の生産能力の拡大、3つ目には自由世界最大の石油消費国であります米国での石油需要構造が激変したことにより、OPEC側に大幅な生産余力が生じ、又この需給緩和が定着した事によるものと思ひます。

石油需要が今後とも伸びる可能性のない中での石油産業は、今迄肥大しきった設備をかかえる構造不況状態から脱皮すべく、各社とも企業内もしくは企業グループ間での合理化、協業化を進めており、非効率製油所の休止、即ち製油所、丸善石油の下津、松山、日鉱船川等であります。又油槽所の再配置、統合、更には交錯輸送の廃止のための精製委託や油槽所の共同利用を、精力的に展開している事は御存知の通りであります。

我が国は昭和40年中頃からの高度成長にともない工業地帯の公害問題が発生し、この対策のため、低硫黄重油の輸入や、重油の間接脱硫及び直接脱硫を建設稼働させ、低硫黄重油の供給をして来ました。特にこの脱硫装置は高温、高圧で水素を使用し、脱硫するものですが、脱硫する時にガソリン、灯油、軽油が併産されます。

最近はこの操業条件を苛酷に致しまして、この白物を積極的に生産する方法や、重油の中から重い軽油を分留して、それを高温加熱した触媒の中で分解してオクタン価の高いガソリンと軽油を生産すると言う様な手段で、白物と黒物の得率を調整し、需給に見合う製品を作ると言う事をやっております。しかし今後とも益々バランスが白物にかたよってきますと、アメリカの様に極度に分解プロセスを

を導入して、白黒のバランスを合せて行く様な方法をとらねばならず、益々設備投資に金がかかって行く傾向になるものと想像しております。その為には石油業界自身が自助努力によって体質を強化し、積極的な投資に耐えられる様な体制が必要かと思ひます。

御存知の様に石油製品は、品質的に特長のない製品の集りであり、且つJIS規格で統一されているものですから、独自のセールスポイントにとほしく非常に販売しづらい商品と云えそうです。独自に販売力を強化するとすれば、キメ細いサービスと顧客との密接な連りを求める外は、価格で勝負と云う事になり、どうしても薄利で売ると言う事になってしまう様であります。9月1日から円安、石油税のアップ等の赤字対策として、少々値上げさせて戴いておる様ですが、宜しく御理解の程お願い申し上げる次第であります。

たまたま増設を断念した26ヘクタールの隣接地は、テクノポリスの用地として活用して戴きます様、全面的に御協力させて戴く事にもなっております関係上、今後とも宜しくお願い申し上げます。

◎ 出席報告

会 員 数	72 名	出 席 率	函 館 北 9 月 5 日	97.10 %	
出 席	53 名		函 館 東 9 月 4 日	98.80 %	
欠 席	19 名		函 館	8 月 30 日	96.57 %
他クラブ出席	14 名		函館五稜郭	8 月 31 日	100.00 %
出席合計	67 名		函館亀田	9 月 3 日	95.35 %
除 外 者	2 名				

次回・7月26日
プログラム
 夜間例会・クラブアッセンブリー

◀ 例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
 事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870 ▶

昭和59年 9月26日

函館北ロータリークラブ
幹事 中川 洲平

位 各 員 会

今般、当クラブ会員より下記の方の入会の推せんがありましたので、理事会はこれを職
 業分類委員会ならびに会員選考委員会にはかりました結果、両委員会よりそれぞれ適格で
 あるとの報告をうけました。
 よって、理事会はその報告に基づき会員候補者として、これをクラブ内に事前発表する
 ことにいたしました。
 つきましては、同候補者の入会に対してご異議のある方は、来たる10月5日までに書面
 により幹事あてお知らせ下さるようお願いいたします。

氏 名	職業分類	役 職	名	推 薦 会 員
か 加 藤 勝 人	百貨店	俵 二 森 屋	専務取締役	三 本 木 元